

若さと友情であすの営農を！



▲難問に首をひねる



▲城内での技術演示発表

問15
 農業経営を行なう場合、個別経営と協業経営があり、協業経営には、農事組合法人、合資会社、有限会社、合名会社等があり、これ等の法人会社を作る場合、構成人数は、何人以上であるか、それぞれ正しいものを選べ。線で結びなさい。

ア 農事組合法人	2人以上
イ 合名会社	3人以上
ウ 合資会社	4人以上
エ 有限会社	15人以上

▲問題の一例



▲会場を阿蘇に移してプロジェクト交流



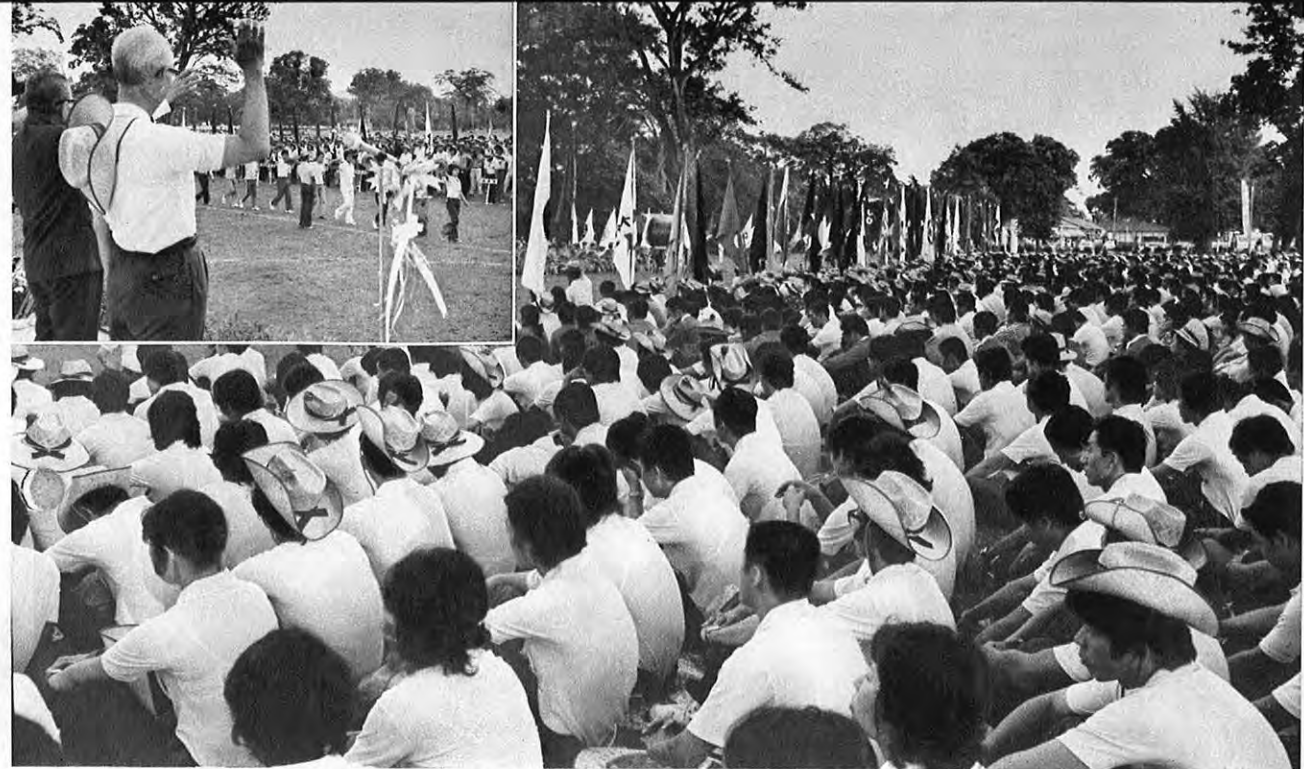
▲競技のあと、ホット一息 植木スイカ



▲阿蘇は三合目で技術競技



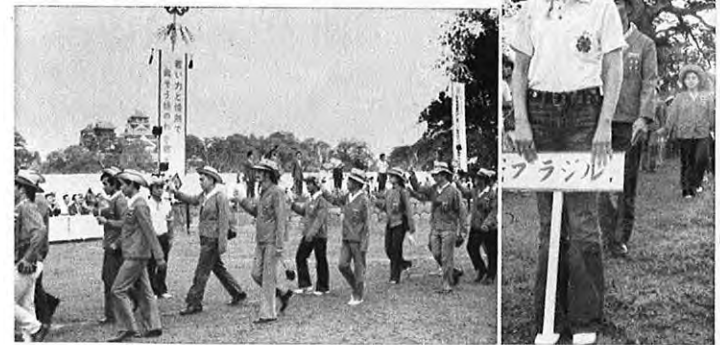
▼夏空のもと瀬ノ本高原で大交歓会



▲熊本城二の丸公園での開会式・手を振るは小山副知事

第十三回全国農村青少年技術交換大会が去る八月一日から四日間、熊本市の熊本城二の丸公園と阿蘇を舞台に開催されました。大会には遠くブラジルから青年三十四人をはじめ、県外七百人、県内五百人、およそ千五百人が参加しました。初日は、熊本城二の丸公園で夕方から開会式。引き続き歓迎の夕べが催され、二日目は午前中二の丸公園で作物、野菜、果樹、畜産、生活の五部門に分かれて、機械の使い方、家畜の飼育法などについて演示発表があり、午後からは会場を阿蘇町に移し、プロジェクト交流、三日目は阿蘇・米塚一帯での技術競技、瀬の本高原での自然観察、坊中野営場でのキャンプファイヤーなど多彩な行事を展開、四日の最終日には阿蘇・草千里での閉会式で、優秀者に贈られるフェンガー賞の発表があり、次回大会開催地山口県に大会旗が引継がれて大会の幕を閉じました。

▼遠来の客・ブラジルチーム



▼県内の青年500人も堂々の入場行進



第13回全国青少年技術交換大会